

クレープ屋さん

1月23日、1月8日に関東地方の1都3府に新型コロナウイルス感染拡大防止のため「緊急事態宣言」が発出され、1月13日には大阪、京都、兵庫の関西3府県を含む7府県が追加されることとなりました。子供たちにとっては大打撃、またセンターでの活動が制限されどこにも遊びに行くことが出来なくなってしまいました。そこで「困った時の昼ご飯作り」。今までにも不要不急の外出・移動の自粛要請があった時は、センターでみんなの食べたいものを自分たちで作って食べていました。今回みんなが挑戦したのは「クレープ作り」です。粉をふるいにかけて卵と牛乳を混ぜて生地を作り、生クリームを泡立て、フルーツやチョコレートクリームも用意して本格的なクレープ作りの始まりです。みんな器用にホットプレートにお玉で救った生地を丸く伸ばして薄く焼き上げ、生クリームやチョコクリームを塗り、その上にフルーツを並べて巻いたらなんとみずみずしい「クレープ」の出来上がり、みんなガッツリ食べていました。



椅子取りゲーム



1月23日、今日は朝からあいにくの雨模様で外遊びが出来ません。百人一首は時季外れ、トランプや人生ゲームではストレス解消にはなりません。そこで思いついたのが「〇〇バスケット」の椅子取りゲームです。ホールのテーブルを端っこによけて、椅子を円形に並べたら準備完了。少しスペースが狭くてこけてケガをしないように注意してゲーム開始。元々少しでも身体を動かしてストレス解消するのが目的で始めたゲーム。ゲームを始めた当初はケガをしないように注意深く動いていた子供たちも時間が経つにつれて段々動きが大胆になり、椅子の取り合いも激しさが増して、最後はひっくりかえる子どもも出て来てゲームオーバー。子どもたちが安心して「あっちこっち」に遊びにける日が一日でも早く戻ってくることを心から願う日々が続いています。

節分

2月3日、今年の節分は2月2日。2月3日が節分と思っていた子供たちはちょっとビックリ。ではなぜ今年の節分が2月2日になったか節分だけに「ちょっと豆知識」。節分とはその名の通り、季節の分かれ目。立春の前日となるので立春がずれると節分もずれるのです。うるう年と同じように地球が太陽の周りをまわる1年の少しずつの時間の誤差の調整が行われた結果2月2日になりました。前回節分が2月2日だったのは明治30年で124年ぶりとのこと。そして37年前の昭和59年の節分は2月4日だったそうです。なんとも珍しい2月2日の節分ですが、「当分は4年おき」に続くそうで二度ビックリです。子供たちは前の週にそれぞれが自分の想像する鬼の面の作っていました。その面をかぶって鬼を交代(なぜかみんな鬼になりたがりです)しながら「鬼は外」「福は内」、と豆まきをしました。今日の夕飯はイワシと巻物と豆の本格的な節分メニューです。寮母さんに特大の恵方巻を作ってもらった子供たちは今年の恵方「南南東」の方向を向いてひたすら無言で「むしゃむしゃ」とかぶりついていました。



バレンタインデー



2月6日、今年もバレンタインデーに向けて手作りのチョコやクッキーを作る予定をしていたセンターの女子たちにはなんとも残念なお知らせです。またもや新型コロナウイルス感染防止のための色々な制約事項が増えてきて、話し合いの結果今年は手作りのチョコやクッキーをお友達に配ることを取りやめになりました。バレンタインデーのお菓子作りを楽しみにしていた子供たちには本当に申し訳ないことですが、今の時期に何があってもいけないので残念ですが中止しました。でも、さすがに何ものなしでは寂しいと、市販のお菓子を何種類か買ってきてラッピングしなおして13日の土曜日に指導員に美山町内を車で半日かけて友達の家々をまわってもらい、お菓子を手渡してきました。役目を終えた女子たちは何かホットした様子。一方お菓子を袋詰めする女子たちを、遠くから心配そうに眺めていた山留生唯一のトワ君。果たしてトワ君の手元にもお菓子の袋は届いたのでしょうか？

雪遊びパート2

2月10日、一昨日の夕方から降り出した雪が、今年二度目となる30cm近い積雪となりました。下校時間の早い「水曜日まで雪が残っていますように」と、祈る子供たちの願いに応じて裏庭には結構な量の雪が残っていました。学校から帰って来て超特急で宿題をすませたマホとユメとモエはこれまた超特急で準備していたスキーウェアに着替えると裏庭の斜面でなぜか「大の字」に。その後斜面を何度もすべり落ちながらギャーギャーとやりたい放題。しばらくしてすべるのにあきた三人は今度は雪だるま作りを始めました。転がっていたマキを持ってきて手にしたり、目と口と鼻を石ころで、眉毛は杉の葉でなかなかの雪だるまに仕上がりました。勉強大好き？で部屋に残っていた二人も呼んできてハイ、ポーズ。



クッキー作り



2月20日、バレンタインデーは先週無事終わったのですが、チョコレートやクッキーを手作りすることを楽しみにしていた子供たち。「どうしても」ということで、自分たちも食べる用の簡単チョコチップクッキーの作り方を指導員に教えてもらって作ることにしました。まず分量を量った小麦粉にバター（小さく切って）と砂糖、塩を二つかみ入れてよく混ぜ合わせ、そこに板チョコを細かくしたものをいれてフリフリと混ぜ合わせて、出来上がった生地を「ニギニギ」してマル平べったく形作ったら出来上がり。オーブンで焼いてもらってるうちになんとも言えない良い香りが漂ってきて、みんな焼き上がりが待ち遠しい様子でした。出来上がったクッキーをおいしそうに食べていました。とりわけ笑顔で頬張るトワの顔がとても印象的でした。

お母さんの一人言

寒暖差はあるものの陽射しが春を思わせる頃となりました。今年度も残すところ1ヶ月となり、月日の過ぎるのは早いものです。「コロナ」で不安な毎日でしたが、親御さんや、ご協力いただいている皆様のおかげで1年終わることが出来そうで喜んでいるところです。まだまだ安心出来ません。個人個人が自粛生活を続けるのがベストではないかと思えます。